

事業の基礎情報

早島町デマンド交通推進プラットフォーム

実施主体	岡山県早島町
事業実施地域	岡山県早島町
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ 商業・農業 ・ 宅配・物流 ・ 金融・保険 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	(有)澤田交通、(有)早島タクシー、早島町観光協会、早島町社会福祉協議会、晴れの国岡山農業協同組合 早島町支店、玉島信用金庫、(株)中国銀行、南岡山医療センター、コンベックス岡山、つくぼ商工会、岡山県総合流通センター運営協議会、Community Mobility(株)
運行形態	①実証事業として運行する交通モード（AIデマンド交通）
運行主体	(有)澤田交通、(有)早島タクシー

現状・課題

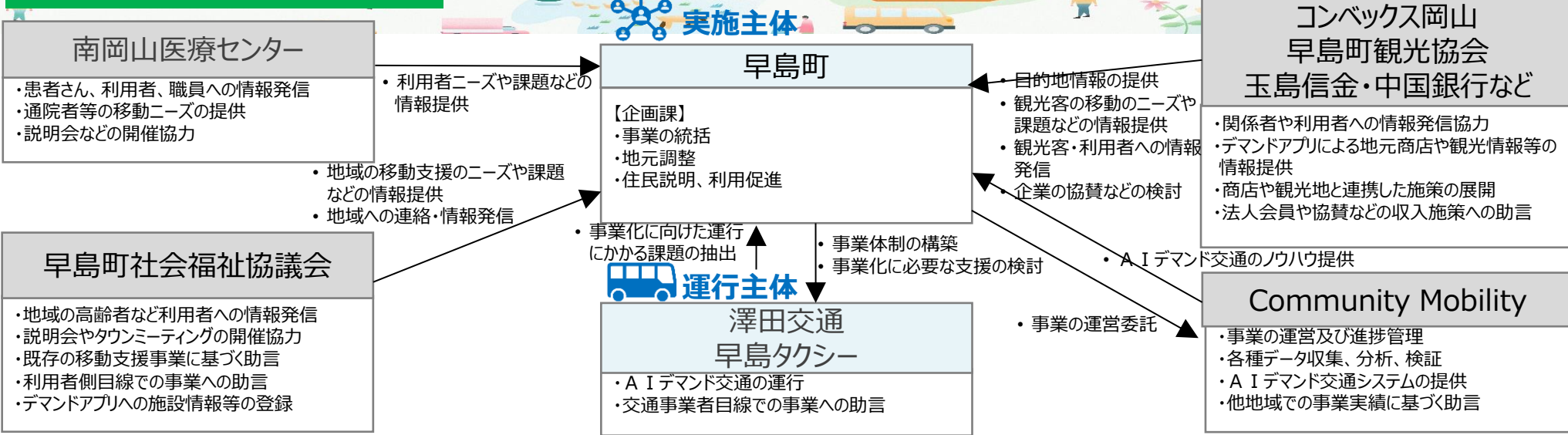
(地域交通の現状・課題に関する分析)

本町では、町内の公共交通を担う無料のコミュニティバスを運行しているが、以下のような課題を抱えている。また、コミュニティバスの利用者は平成27年度をピークに減少しており令和5年度の利用者数は平成27年度に比べ20%以上減少している。

- ・町内の団地は高齢化が進んでおり、坂も多い為、バス停までの移動が困難
- ・町内一円を運行する為、目的地まで時間がかかり、便数に限りがあるので好きな時間に目的地に行くことができない
- ・バスの運転手も高齢化しており、大型二種免許保有の運転手確保が困難
- ・無償での運行の為、町の財政負担が重い
- ・観光名所や飲食店などは町外からの来訪者が駅から歩いて行くには遠く、バスでの移動も難しい

地域公共交通計画への位置づけ (位置づけ予定を含む)	有（予定） 交通計画策定に際して本事業を報告及び位置づけ予定	運輸局・運輸支局への事前相談	中国運輸局岡山運輸支局
令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無	無		

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

(事業の概要)

運行主体等と連携して、町内全域をカバーするAIデマンド交通の実証運行を行う。実証実験にあたり、乗降場所については、共創プラットフォームで検討を行い、住民はもとより町外からの来訪者も利用しやすい地点を設定し、デマンドのアプリ及び電話で配車可能なものとする。若年者から高齢者まで幅広い年齢層で利用しやすいものとする。また、月額定額制運賃を設けるとともに1回あたりの運賃も設け、早島町で高齢者等に交付しているタクシーチケットとの連携も図り、高齢者等の利用促進、外出機会創出を図る。

(地域の関係者との連携・協働)

プラットフォームは早島町を中心に地域の移動課題に関係する事業者で構成され、地元タクシー事業者や移動支援を実施する団体、移動目的創出に加え、事業の継続性を高めることを目的とし、観光客輸送とも組み合わせるため観光協会や商工会も参画しており、多様な構成員それぞれが持つネットワークを通じて事業への協力を呼びかけていく。また、医療、福祉分野のパートナーとは、患者・利用者の足の確保、流通・観光分野のパートナーとは町外からの来訪者の二次交通としての利用促進など、各事業者と連携・協働を図る。

(地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

町内の公共交通は、町営のコミュニティバス及びタクシー、JRとなっており、コミュニティバスとタクシーの中間的なAIデマンド交通の運行により、利便性や料金面などから現在の公共交通を面的に補完することができ、行きたい場所に、行きたい時間に、低額（定額）で移動することができるようになる。また、コミュニティバスでは決まった時間しかJRとの接続がなかったが、AIデマンド交通の運行により、行きたい時間に駅に行くことができるため、JRの利用促進にも寄与するものとなる。タクシーについては、AIデマンド交通の運行範囲を町内のみにすることにより、町外への移動需要が高いタクシーとの棲み分けも可能となっている。

実施内容	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施主体
共創PFキックオフ									全員
地域公共交通会議									町、運行事業者
タウンミーティング									町、 社会福祉協議会、 CM
乗降場所設定 乗入れ調整		検討	登録						町、運行事業者 CM
法人会員・協賛獲得		協力施設・事業者募集							全員
プロモーション		プロダクト開発	実施	継続実施					全員
利用者説明会									町、 社会福祉協議会、 CM
運行会社研修			研修						運行事業者、 CM
運行				実証運行 ※キャンペーン随時実施					運行事業者
結果とりまとめ									全員

取組の詳細

（地域交通にもたらされると想定される効果）

- ・町内での公共交通は、町が運営する無料のコミュニティバスとタクシー、JRで成り立っているが、コミュニティバスとタクシーの中間的なAIデマンド交通の運行により、利便性や料金面などから現在の公共交通を面的に補完することができ、行きたい場所に、行きたい時間に、低額（定額）で移動することができるようになる。
- ・この新たな移動手段となるAIデマンド交通が駅や病院、商店などへの自家用車での移動・送迎に代わり、町内の渋滞緩和や環境負荷軽減が期待される。
- ・また、共創事業者となる南岡山医療センターや商工会などからの利用者の移動ニーズ等の情報を本事業に活用することで、通院者等に対し、利便性の高い交通とすることにより、生活交通の一端を担う交通となることが期待される。

（地域全体に及ぶと想定される効果）

- ・外出機会の創出による健康寿命の延伸、生活交通確保による高齢者等の転出者の抑制、町外からの来訪者の二次交通確保による商店や観光地の賑わい、他地域からの来町者の増加、自家用車の送迎からAIデマンド交通への転換による渋滞緩和・環境負荷軽減

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

☐	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上	☐	貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
☐	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	☐	通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

（補助事業実施後の予定）

本実証運行により得られた乗降データ等の得られた結果をもとに事業検証を行い、令和7年度以降、本事業の実装に向け、町が運行する定時定路線型コミュニティバスが、AIデマンド交通に置き換えることで地域にとってプラスになるのかを具体的に検討する。
事業化にあたっては、事業の継続性の観点から、本実証で構築した地域が支えるスキーム（企業協賛等）を継続・拡充し、早島町の財政負担軽減を図る。

資金面	共創パートナーや法人会員、協賛など他分野関係者による資金拠出を予定
人材面（運転手の確保）	早島町で実施している無料職業紹介所において、求職情報を掲載することにより、必要に応じて運転手確保に対する支援を行う